

音声ガイド：お糸地獄と温泉卵

道路沿いにずっと進むと、木造建築物を目にするだろう。ここで、雲仙地獄を 2 種類の温泉を印象深い方法で楽しめる。

右側には腰掛ける場所があり、はだしで地獄の熱を感じられる。木の厚板が石の上に置かれ、足元のガスや熱湯で自然に温められる。時には厚板が熱くなりすぎて、足がやけどしそうになるため、インフォメーションセンターのスタッフが時々このエリアを封鎖している。

お腹が空いている？左側には、地獄からの蒸気がクレーパイプを通っていて、「温泉たまご」を作るのに使われる。この美味しいおやつは 100 年以上も観光客に人気がある。地獄でたむろする勇敢な猫が、あなたの温泉たまごを取っていかないように気をつけて！

歩道をさらに進むと、お糸地獄がある。地元の伝説では、島原城の近くには 1800 年代後半、お糸という名の裕福な女性が住んでいた。お糸は愛人と一緒になって夫殺しを企てた罪に問われ、処刑された。ほとんど同じ時期に、地下からこの地獄が沸き上がった。この地獄にお糸の名前が付けられたのは、不貞と殺人の罪を犯した者の死後を忘れないためだ。